

入生田菌類誌資料 No.007

オオバコそうか病菌

Sphaceloma plantaginis Jenkins & Bitanc.

宿主：オオバコ *Plantago asiatica* L.

子囊菌門 Ascomycota チャワソウタケ亜門 Pezizomycotina クロイボタケ綱 Dothideomycetes
 クロイボタケ亜綱 Dothideomycetidae ミリアンギウム目 Myriangiales エルシノエ科 Elsinoaceae

供試標本

KPM-NC0016985, 2009年7月31日, 入生田吾性沢下流(天狗の下空き地), 酒井きみ・福井道子採集.

肉眼的特徴

葉に、茶褐色の瘡蓋状の病斑が点在する。

顕微鏡的特徴

分生子は子座に頂生し、5-6×2-2.5 μm、単細胞、楕円形、平滑で、両端に油滴があり、無色である。

ノート

ミリアンギウム目 Myriangiales の中で、子座が植物組織中に埋生する植物寄生菌である(pp.22-23 のウレオミケス・デキピエンス *Uleomyces decipiens* 参照)。

文献

小林享夫・勝本 謙・我孫子和雄・阿部恭久・柿島 眞編, 1992. 植物病原菌類図説. p.406. 全国農村教育協会, 東京.

担当：佐々木シゲ子
 監修：小林享夫



図1. 葉の病徴.

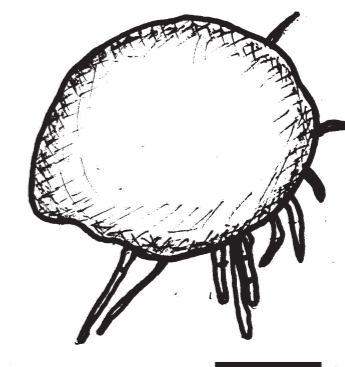


図2. かさぶた状の病徴. bar: 100 μm.



図3. 分生子層断面と分生子. bar: 25 μm.

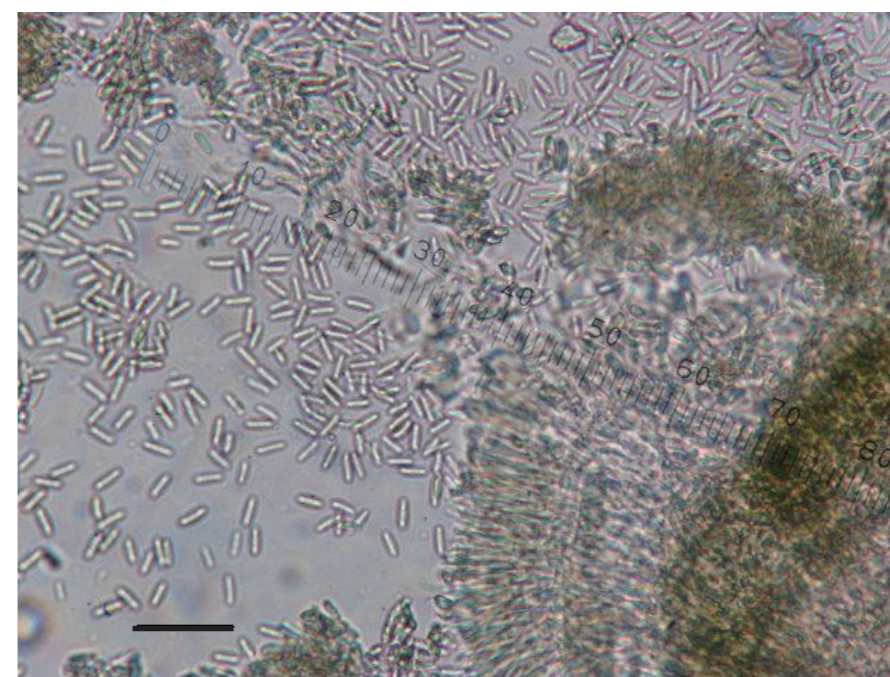


図4. 分生子層断面と分生子. bar: 25 μm.